

第 392 回 狛江市行財政改革推進本部会議会議録

- 1 日 時 令和 4 年 9 月 13 日（火）午後 1 時 9 分～1 時 12 分
- 2 場 所 市長公室
- 3 出席者 本部長 松原市長
副本部長 平林副市長
副本部長 柏原教育長
本部員 高橋企画財政部長
本部員 石橋総務部長
本部員 鈴木市民生活部長
本部員 小川福祉保健部長
本部員 片岡子ども家庭部長
本部員 門井環境部長
本部員 小俣都市建設部長
本部員 小川議会事務局長
本部員 上田教育部長
事務局 富田政策室長
中村企画調整担当主査

4 欠席者

5 議 題 令和 4 年度 狛江市 基本計画推進委員会 提言書について

6 会議概要

本 部 長 それでは、「令和 4 年度 狛江市 基本計画推進委員会 提言書について」説明をお願いする。

事 務 局 「令和 4 年度 狛江市 基本計画推進委員会 提言書」について、9 月 12 日に委員長から市長へ答申があったため報告する。今年度の外部評価においても、「市民参加・市民協働の視点」、「狛江らしさの視点」、「経営的な視点」、「SDG s の視点」の 4 つの視点において、各施策に係る取組の内容、成果、指標及び決算額を確認し、提言をいただいた。「3 委員会活動内容」について、今年度の基本計画推進委員会は、6 月 13 日の第 1 回から始まり、評価対象施策担当部署の御協力のもと、計 6 回の委員会を開催した。資料 4 ページから 10 ページまでが、今年度評価対象施策である 4 分野 4 施策の選定経緯が記載され、「5 本論」が、各施策に対する委員会からの提言内容である。

はじめに、評価対象施策 A 「歴史の継承と文化財の保存」については、11 ページに市が作成した施策評価シートの一部抜粋として、評価対象施策である前期基本計画で掲げる重点化した方向性の概要、現状と課題を記載し、その施策に基づく取組を実施している担当部署、最後に総括として、令和 3 年度を中心に進めてきた取組の成果、課題を記載している。12 ページに委員会からの提言として、評価対象施策 A に対する提言が記載されている。施策ごとにそれぞれ、2～3 の提言をいただいているため、内容については、確認をお願いする。全体を通しては、行政内部の部署間において、連携を図りながら実施してきた、これまでのノウハウを活かし、より幅広い取組となるよう検討すること、市内企業や団体の取組や市の新たな魅力などの積極的な情報発信について検討いただきたいとの提言をいただいているところである。各部署においては、提言内容についての対応等を検討するとともに、今後の取組の見直し及び検討を行う中で、本提言書を活用

いただくようお願いする。

本部長 質問・意見等なければ、本件については了承とし、他になければ、第392回
江市行財政改革推進本部会議を終了する。